

# DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替プレミアム (毎月決算型)

## <愛称：ユーロ・プライム>

追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「DIAM欧州ハイブリッド証券ファンド 為替プレミアム (毎月決算型)」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に欧州の金融機関が発行するユーロ建てのハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年9月4日～2019年3月1日

第55期	決算日：2018年10月2日	
第56期	決算日：2018年11月2日	
第57期	決算日：2018年12月3日	
第58期	決算日：2019年1月4日	
第59期	決算日：2019年2月4日	
第60期	償還日：2019年3月1日	
償還日 (2019年3月1日)	償還価額	3,881.88円
	純資産総額	455百万円
第55期～ 第60期	騰落率	△2.7%
	分配金合計	250円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書 (全体版) を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書 (全体版) は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

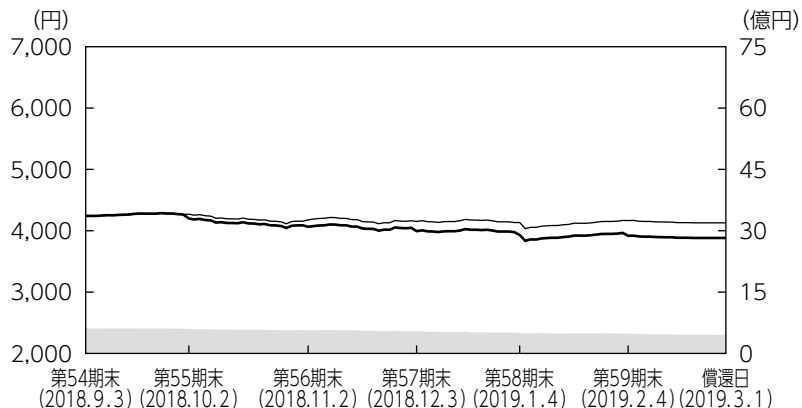
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第55期首： 4,242円  
 償還日： 3,881.88円  
 (既払分配金250円)  
 騰落率：  $\Delta$ 2.7%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期については、ハイブリッド証券利回りと国債利回りとの格差を示す信用スプレッドの拡大を背景にハイブリッド証券市場が下落したことに加え、円高ユーロ安のマイナス寄与が為替オプション収益のプラス寄与を上回ったことなどがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

また、当ファンドは設定来で0.7%下落しました(分配金再投資ベース、設定来の分配金6,070円)。ハイブリッド証券の収益がプラス寄与となりましたが、為替市場においてユーロ/円相場が円高ユーロ安となったこと等がマイナスに寄与となりました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム (毎月決算) クラス	$\Delta$ 2.2%
D I A Mマネーマーケットマザーファンド	0.0%

- (注1) D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム (毎月決算) クラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。
- (注2) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間 (D I A Mケイマン・ファンドーダイアム・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム (毎月決算) クラスは2019年2月20日まで、D I A Mマネーマーケットマザーファンドは2019年2月25日まで) の騰落率です。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第55期～第60期		項目の概要
	(2018年9月4日 ～2019年3月1日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	22円	0.554%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,038円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 9)	(0.222)	
(販売会社)	(13)	(0.317)	
(受託銀行)	( 1)	(0.015)	
合計	22	0.554	

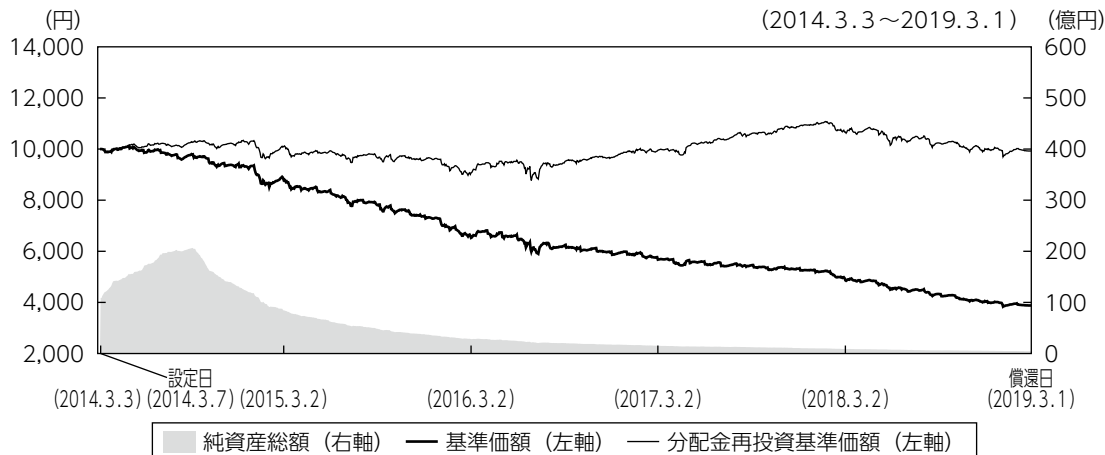
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2014年3月7日 設定日	2015年3月2日 決算日	2016年3月2日 決算日	2017年3月2日 決算日	2018年3月2日 決算日	2019年3月1日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	8,785	6,528	5,672	4,865	(償還価額) 3,881.88
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,320	1,440	1,440	1,200	670
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.0	△10.2	9.8	7.2	△7.0
純資産総額 (百万円)	10,879	8,408	2,821	1,501	872	455

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 設定来の投資環境

ECB（欧州中央銀行）による積極的な金融緩和政策により、ドイツ国債利回りは低下（価格は上昇）しました。また、信用スプレッドは一時的に拡大する局面はあったものの、主要金融機関が自己資本比率を高める等バランスシートの強化を進めてきたことや、国債利回りが低位で推移する中で高い利回りを求める投資家の需要を背景に、概ね安定的に推移したことなどから、ハイブリッド証券市場は良好なパフォーマンスとなりました。

為替市場では、ユーロ/円相場は円高ユーロ安となりました。ECBおよび日銀はともに積極的な金融緩和政策を実施しました。2016年6月に英国の国民投票でEU（欧州連合）からの離脱が多数になったことを受け、ユーロは対円で大幅に下落しました。その後、欧州経済の回復を受け、ECBが量的緩和の終了に向けて準備を進める中、ユーロも回復しましたが、設定時の水準までは至りませんでした。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは設定当初から0.0%程度で推移しました。日銀が2016年1月にマイナス金利政策を発表した後、3ヵ月物国庫短期証券利回りは大幅に低下しました。その後は上下に推移しながら、作成期末にかけて概ね△0.17%程度まで上昇しました。

## 設定来のポートフォリオについて

### ●当ファンド

DIAMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム（毎月決算）クラスの組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマーケットマザーファンドへの投資も行いました。

### ●DIAMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム（毎月決算）クラス

欧州の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、英国・ドイツ・オランダのウェイトを相対的に高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債を徐々に引き上げました。加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却し、オプション・プレミアムの獲得を図りました。

### ●DIAMマネーマーケットマザーファンド

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2018年9月4日 ～2018年10月2日	2018年10月3日 ～2018年11月2日	2018年11月3日 ～2018年12月3日	2018年12月4日 ～2019年1月4日	2019年1月5日 ～2019年2月4日
当期分配金（税引前）	70円	45円	45円	45円	45円
対基準価額比率	1.64%	1.10%	1.11%	1.13%	1.14%
当期の収益	70円	45円	45円	45円	45円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	484円	523円	535円	547円	559円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

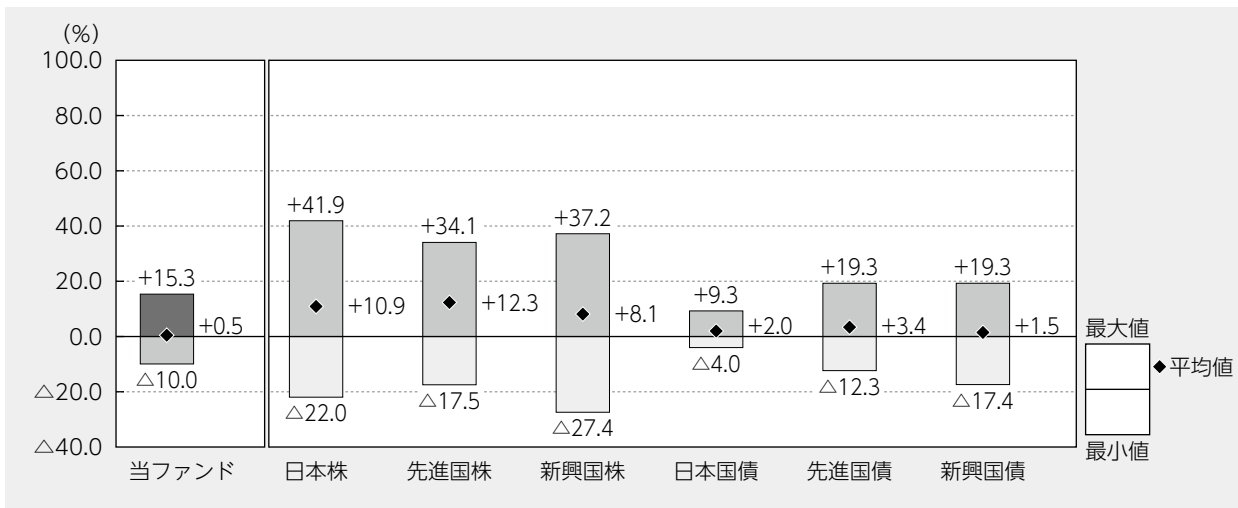
（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年3月7日から2019年3月1日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「D I AMケイマン・ファンドーダイヤモンド・ヨーロピアン・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム（毎月決算）クラス」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「D I AMマネーマーケットマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として、円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に欧州の金融機関が発行するユーロ建てのハイブリッド証券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 投資対象とする外国投資信託において、原則として対円での為替ヘッジを行わず、円に対するユーロのコール・オプションを売却し、オプション・プレミアムの獲得をめざします。
分配方針	決算日（原則として毎月2日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2015年3月~2019年2月

代表的な資産クラス : 2014年3月~2019年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

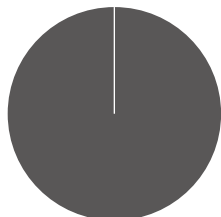


## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2019年3月1日現在)

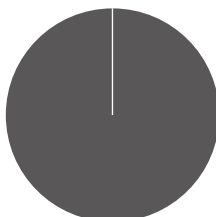
当ファンドに組入れておりました有価証券は作成中に全て売却し、また親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

#### ◆資産別配分



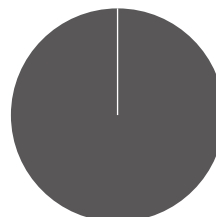
その他  
100.0%

#### ◆国別配分



その他  
100.0%

#### ◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

### 純資産等

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	償還時
	2018年10月2日	2018年11月2日	2018年12月3日	2019年1月4日	2019年2月4日	2019年3月1日
純資産総額	594,218,449円	567,374,342円	538,328,164円	502,407,402円	480,999,770円	455,840,208円
受益権総口数	1,414,913,080口	1,395,953,225口	1,348,327,860口	1,278,063,137口	1,227,781,762口	1,174,275,848口
1万口当たり基準 (償還) 価額	4,200円	4,064円	3,993円	3,931円	3,918円	3,881.88円

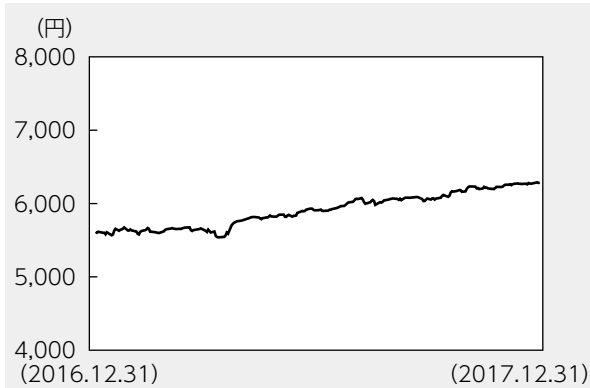
(注) 第55期～償還時における追加設定元本額は6,996,987円、同解約元本額は265,482,659円です。

## 組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

[DIAMケイマン・ファンド・ダイヤモンド・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム (毎月決算) クラス]  
(計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日)

### ◆基準価額の推移



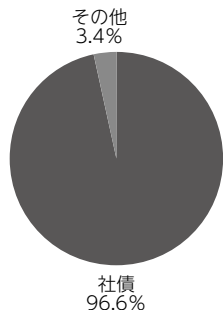
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
BANQUE FED CR 3% 05/21/24/EUR/	ユーロ	6.1%
ELM BV (SWISS V/R /PERP//EUR/	ユーロ	5.8
AQUA + INV ( V/R 10/02/43/EUR/	ユーロ	5.2
ASSICURAZION V/R 07/10/42/EUR/	ユーロ	4.6
HBOS PLC V/R 03/18/30/EUR/	ユーロ	4.6
BARCLAYS PLC V/R 02/07/28/EUR/	ユーロ	4.4
ABN AMRO 7.125% 07/06/22/EUR/	ユーロ	4.3
MUNICH RE V/R 05/26/42/EUR/	ユーロ	4.1
ALLIANZ SE V/R /PERP//EUR/	ユーロ	4.0
AVIVA PLC V/R 07/03/44/EUR/	ユーロ	3.8
組入銘柄数	32銘柄	

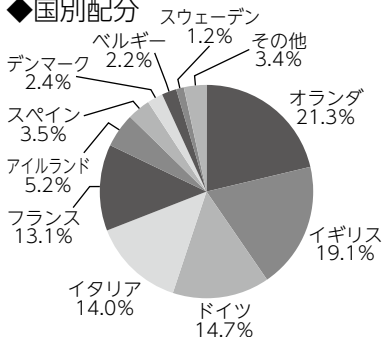
### ◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

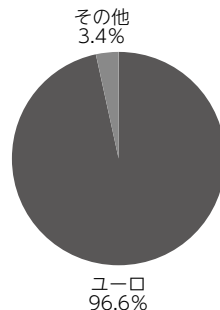
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



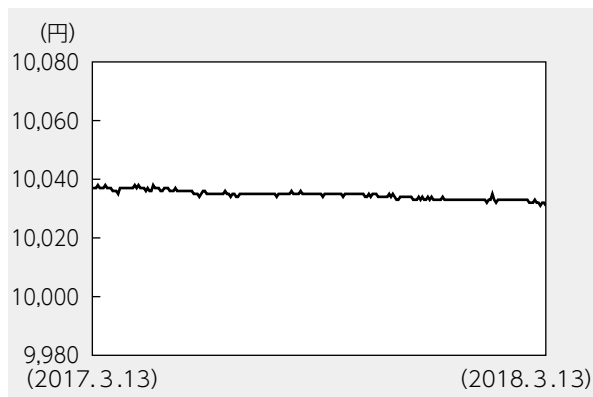
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はDIAMケイマン・ファンド・ダイヤモンド・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド カレンシープレミアム (毎月決算) クラスの計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、DIAMケイマン・ファンド・ダイヤモンド・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はDIAMケイマン・ファンド・ダイヤモンド・ヨーロッパ・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コーのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【DIAMマネーマーケットマザーファンド】（計算期間 2017年3月14日～2018年3月13日）

◆基準価額の推移



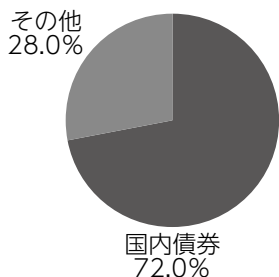
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 1 4回 利付国庫債券（5年）	日本・円	25.5%
4回 政保阪神高速道路会社債	日本・円	19.3
8 7回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	11.7
8 8 5回 政保公営企業債券	日本・円	3.8
1 5回 政保東日本高速道路債券	日本・円	2.6
2 5年度3回 千葉市公募公債	日本・円	1.4
2 1年度2回 京都府公募公債	日本・円	1.3
1 6 6回 神奈川県公募公債	日本・円	1.3
7回 政保地方公営企業金融機構債券	日本・円	1.3
2 5年度8回 福岡県公募公債	日本・円	1.3
組入銘柄数	12銘柄	

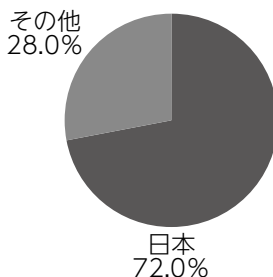
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

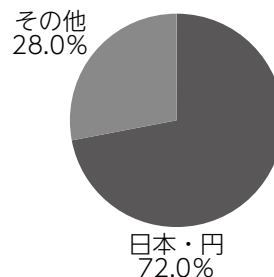
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。